

## 受験生の夏休みを有意義なものに！

明日から夏休みが始まります。今年の夏休みはこれまでのものと違うということ、子どもたちには折りに触れて話をしてきました。ほとんどの生徒が人生で初の「受験」に立ち向かいます。この壁を乗り越えるためには、夏休み期間の学習が重要となります。まさに「夏を制する者は受験を制す」です。この言葉を意識して学習に励み、夏休みを有意義なものにしてほしいと思います。

6月から各高校のオープンスクールが実施されていますが、たくさんの生徒が申し込み、参加をしています。夏休み中の開催も多くあります。服装等に注意して参加させてください。

私が以前に読んだ、ある高等学校の学校だよりに、次のような文章がありました。高校生に限らず、中学生にも言えることだと思いましたので、引用させていただき、紹介します。

### 「努力した人は報<sup>むく</sup>われない？」

「努力した人は報われる」という言葉があります。本当にそうでしょうか？たとえば、自動車の運転免許や資格試験のように、「〇〇点」とれば合格などという場合、これは間違いなく努力は報われると言っていいでしょう。しかし、競争試験の場合、たとえ100人全員が頑張っても、合格者が20人と決められていたら80人の努力は報われないこととなります。それなら、努力しても一緒じゃないか！という人もいるかもしれません。そうなのです。80人の不合格者には、努力した人にも努力しなかった人にも同じ評価が下されるのです。

では、「努力した人は報われる」という言葉は、ただのきれい事じゃないか！そう投げやりになりたくもなります。しかし、ここで考えてほしいのは、「努力が報われた人が20人いる」ということです。それでは何が違うのでしょうか。それは競争である以上、勝たなければならないということです。つまり、「努力した人は」という言葉の前に、“人よりも”が必要となります。そうです。「”人よりも”努力した人は報われる」なのです。

厳しい現実を表す言葉です。なかなか実現することが難しい言葉ですね。スポーツの世界では、個人の持って生まれた素質や才能の差があることから、「努力しても最初から勝負は決まっている」というさらに悲観的な言葉もよく使われます。やっぱり努力しても一緒じゃないかとついつい考えがちになってしまいます。しかし、結果的に報われた人は、人一倍努力をしていたことを知ってほしいと思います。

ところで、高校野球や高総体、大学駅伝などの大会では熱いドラマがしばしば展開されます。「勝敗が決まっている」と思われたものが必ずしもそうならないという意外性に、人々はひきつけられるでしょう。人々はそれを「奇跡」や「偶然」などと表現しますが、しかし、ドラマを演じたチームや個人には、その奇跡や偶然を必然にした、人知れぬ汗や涙が隠されていたと思います。

ある韓国映画の中に、2回出てくるセリフがあります。

「運命は努力する人に、偶然という橋をかけてくれる。」

結果的には、偶然も努力のなせる必然なのかもしれません。

やはり、「”人よりも”努力した人は報われる」 そう信じてほしいものです。

君は、“周りの人より”自分の方が努力していると自信をもって言えますか？

[H19年6月30日付 県立長崎北陽台高校学校だより 財修一校長先生（当時）の文章から引用]

## 【夏を制する三か条】

### 一、学校があるときと同じ時間に起床すべし！

生活リズムを一定に保ち、体調を管理しよう。

### 一、夏休みの課題は8/8までに終わらせるべし！（7月中なら、なおのことよし）

課題を済ませ、じっくりと残りの期間で真の“受験勉強”に取り組もう。（自分の弱点を中心に復習し、実力をつけよう。）

### 一、一日一本、シャープペンシルの芯を使い切るべし！

「見るだけ」「読むだけ」「線引くだけ」は勉強ではない。「写す」「解く」「まとめる」など、手を動かして勉強しよう。

実り多い夏休みになることを願っています！ 頑張れ3年生！